

第5投目：大会では釣りたくなかったクロ

奄美磯釣連盟 2 月大会がついに始まりました。この大会は 3 日間限定の釣果で競われ、クロの全長（現物審査）で勝敗が決まります。

2012.2 月某日、我がクラブは大会入賞を目指しメンバーで渡船を貸しきって瀬戸内町の西側海域へ釣行しました。当日の天候は晴れでしたが、前日までの北のうねりが残り、釣果が期待できる沖の離れ瀬付近には行けません。潮的には納得いきませんでした。今日のサラシが出来る状況を第一に考え、私は単独で H 崎に降りることにしました。

磯に降り本命の下げ潮が動いているかどうか確認するため沖向きに撒き餌をしてみますが、思ったより動いていないようです。干潮まではあと 1 時間弱、時間も無いので潮でクロを寄せるより、すぐ近くで遊んでいるかもしれないクロを狙ってさっそく釣りを開始することにしました。撒き餌をうち、磯の壁沿いを流れていく餌をずっと観ていると、際から少し体を出し黒っぽい魚が餌を拾うのが一瞬確認できました。魚は何か判別できなかったのですが、とりあえずあの魚を釣ってやろうと決め仕掛けを流します。サラシの押し付けにより仕掛けは苦労せずとも壁に沿って流れなじんでくれます。ここまでは予定通りの展開です。

イソゴンベ、黄色いベラと魚を 2 匹釣り、その数投後ウキが斜め下にきれいに引き込まれるアタリです！同時に合わせる魚はグーンと壁沿いを走りました。サラシの中、魚を浮かせる途中に黒い魚体が見えたのですが、どうも尾びれの先端が丸く見えます。クロっぽい走り方をしますが、オキナメジナなのでしょうか？しかし水面まで浮かせると青い目をした本命！タモ入れし、さっそくサイズを測るためクーラーに乗せましたが、なんと尾びれが上も下もチョン切れています。小さいころに他の魚にかじられたのでしょうか…大会中なのに、ショック

『まあ次、もっと大きいのを釣ればいいや』こんな考えで次の一投…またしても同じようなアタリがきました！そして先ほどより強い力で浅場に向かって走ります。『ほらきた ほらきた～』ルンルン気分です。魚を浮かすと、今度は唇が不恰好な本物のオキナメジナでした



結局その日は、朝の一枚しかクロは釣りきれず、6 位までが入賞となる 3 日間大会にはクラブ内だけでも 7 位となってしまったためエントリーも出来ませんでした。結果、入賞した 2 位から 6 位までがその差 1 . 8 cm 内にひしめく大混戦の大会、そんな大会で尾びれの切れたクロを見事に釣り上げてしまった悲運。

『運も実力のうち』ですよね…実力の無さを痛感した苦い思い出の大会となりました。

